

斎藤いくまを国会へ!

2017年9月26日
No.492

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

斎藤いくま委員長の 衆院選立候補声明

- ◆労働者の、労働者による、労働者のための社会をめざして
- ◆新しい労働者政党のための一歩をともに歩むことを訴えます

人間が生きて、働くことがこんなに低く扱われた時代はありません。小さいように見えても、どんなに不当に扱われても、人間の労働がこの社会を動かしています。だから、「ブルー」も「ホワイト」も、労働者こそもっと政治に関わるべきこの社会の主人公です。だけど、劣悪な労働条件は労働者にそんな時間も余裕も許してくれません。

結局、「国民に選ばれた」なんて言って政治家をやっているやつは、ほとんどが時間と余裕を持っている大金持ちか、大金持ちとつながったエリートたちばかり。みなさん、本当は気づいているでしょう? この社会のシステムは、圧倒的多数の人々の労働の上に裕福な暮らしをする連中が、私たちが生活に追われている間に「代わりに政治をやってあげよう」と言って富裕層に利益誘導するためのものだ、と。

2016年度版「日本長者番付」(フォーブス紙)のデータでは、トップ40人が所有する金融資産は日本人の下位半分(約6500万人!)と同額だそうです。しかも、第1位はブラック企業の代表=ユニクロの会長。他方で、社会を覆う貧困や過労死…。これはワンセットの関係です。

貧困や過労死がただ増えているのではなく、人間をボロボロに使いつぶして利益を上げることが許されているのが、本当の原因です。「株価の上昇」が生活改善に結びつかないのは当たり前です。だって、労働者の賃金を削って株主と銀行に渡してるだけだから。むしろ、私たちの生活の悪化が株価上昇とイコールになっています。

はてには改憲と戦争! 戦車やミサイルを税金で買うわけですが、それは誰のものだよ? 政府は「北朝鮮の脅威」を一生懸命叫びますが、本当に「脅威」だと思えばそもそもこの時期に解散しないでしょう。戦争を煽り、金もうけの



全学連委員長

斎藤 いくま

この国に革命を

改憲
反対

生きる誇りとりもどそう

都政を革新する会

演説会: 10月21日(土) 午後6時 JR秋葉原駅北口

北島 くにひと

元杉並区議会議員
東京西部ユニオン副委員長



「新産業」にしたいだけだ。こんなことに協力する必要は一切ありません。

この国に必要なのは革命です。奴隷として扱われている人間が「誇り」を取り戻す方法は、平和ではなく反乱です。本当に社会を動かしている労働者は、団結した時にとっても強い。

私は法政大学に入学して学生運動をやるようになってから、解雇撤回や非正規職撤廃を求めて、職場から地道に闘い続ける多くの労働者と出会い、支えていただいて活動を続けてきました。この社会の根本問題は「労働問題」です。ぜひ、ともに闘いましょう!

齋藤いくま

闘いの軌跡

2007年4月

法政大学法学部政治学科入学
社会科学研究会に入部しマルク
ス主義を学ぶ



2007年6月

法大当局による3・14法大弾圧と
「学友会廃止」攻撃に対して抗
議活動を開始



2008年4月

文化連盟委員長に就任

2008年5月20日

度重なる当局の弾圧と恩田君へ不当処分に対して「一人の仲間も見捨てない」「これ以上の大学の暴挙を絶対に許さない」のスローガンを掲げてキャンパス集会を執行。いわゆる「文連決起」。以後連日、暴力偽装職員「ジャージ部隊」と暴力的に激突しつつも集会を実力で勝ち取る。



2008年6月

学友38名が5月29-30日に不当逮捕されたことに対してハンガーストライキを170時間敢行。

2008年10月

「ジャージ部隊」を学内から叩き出す。

2008年11月

動労千葉などが主催の全国労働者総決起集会で文化連盟委員長として連帯発言

2009年5月

4・24法大集会での建造物侵入と「暴処法」弾圧によって不当逮捕。起訴され東京拘置所に7か月間拘留。



2011年3月31日

「3・11原発事故」後初の東電デモで不当逮捕。

2011年9月

全学連委員長に就任。全国大学自治会建設方針のもと戦争と新自由主義大学粉砕へ奮闘

2013年4月

法大門前で不当逮捕

2015年

安保関連法粉砕の闘いに決起。強行採決直前の9月16日には国会前車道を占拠し集会を勝ち取る。

2015年10月27日

京大反戦バリストを京大同学会と共に闘う。翌年に京大当局らによって不当逮捕。

2016年11月

訪韓し韓国の仲間と共にパククネ打倒の闘いに決起

2017年

共謀罪阻止決戦を闘い抜き、全学連大会議案の地平のもと衆院選に出馬を表明

